

環境負荷低減事業活動の概要

事業者：味の素冷凍食品株式会社



環境負荷低減
事業活動

計画概要

1. GHG削減

国内6工場で製品の冷凍に使用する冷媒を自然冷媒へ転換しフロンを全廃し、都市ガスへの転換や蒸気エネルギー再利用でCO₂排出削減を推進中。フリーザーや冷蔵冷凍機を環境配慮型のモデルに計画的に更新し、製品品質を保ちながらCO₂排出量削減のさらなる計画・実行を推進する。

2. 廃棄プラスチックのゼロ化

冷凍食品の包装で多いプラスチック使用量の削減、長期的な廃棄プラスチックゼロを目指して「製品のプラスチック廃棄物削減」、「リサイクルしやすい素材の採用」、「製品以外のプラスチック廃棄物削減」を推進する。既に一部で進めているトレイ不使用化、紙素材、モノマテリアル素材の導入について、主力製品群であるギョーザ類での対応を進め、製品の機能性と利便性を維持しつつ環境負荷低減を図る。

目標

令和8年4月～令和12年3月

1. 国内全6工場におけるCO₂排出量を平成30年度比で50%削減*¹する。
2. 自社工場で製造している全製品の包材における、リサイクル可能なプラスチック*²比率を100%にする。

*1：国内全自社6工場におけるCO₂排出量削減割合（2025年12月時点におけるScope1&2の範囲）

*2：自社工場で製造している製品包材における、リサイクル可能なプラスチック比率（2025年12月時点）

食料システムへの寄与

1. 国内工場において製品の安定供給と品質を維持しつつ、CO₂排出量削減を実現し、社会・食品産業・消費者の暮らしに貢献する脱炭素化に寄与すると共に、環境に配慮した商品の選択を求める消費者のニーズに応じた商品の提供に寄与する。
2. 廃棄プラスチックゼロ化の取り組みを先駆的に推進することにより、食品産業の発展と環境負荷低減に寄与する。また、消費者の環境に配慮した商品の選択機会が拡大すると共に、社会的課題解決に貢献しているという実感を与え、持続可能な消費行動の拡大・定着にも貢献する。

計画のイメージ

1. GHG削減取り組み事例



冷媒設備の
更新

2. 廃棄プラスチックゼロ化 取り組み事例



リサイクル
しやすい

モノマテリアル化素材（単一素材でリサイクル性の高い包装材料を積極的に採用

（2025年12月19日認定）